

2010年7月29日～31日、ゆうこうの家に近い、喫茶店「木馬」にてお泊り会を敢行しました。

華山先生を筆頭に、たくさんのボランティアの方たちの協力のもと、参加者は小学校3年から中学3年までの12人が集まりました。

「木馬」は3階建ての住居兼喫茶店なので、たくさんの部屋と厨房があり、全室冷暖房完備。下見に来られた何組かのお母さん方もこれなら大丈夫と安心できたようです。

お泊り会第1日目

1日目のお昼に集合した子供たちのハイテンションがなかなか治まらない中、まずは組分けです。中3のお兄さんたちを班長に3組作り、それから規則や約束事を作ったり、自己紹介したり。



晩御飯は焼きそばとお好み焼きを全員で作りました。

猛暑の中、食料調達のため、自分たちで買い出しです。

ところで「やきそば・お好み焼き」の買い物リストの中に「はなやま先生」とありましたが、はたしておいくらだったのでしょうか。

夜はゲーム大会を楽しんだ後、1日を振り返ってから、就寝しました。



疲れちゃって、部屋の端でつい、うとうと

お泊り会第2日目

2日目の朝は手作りホットケーキでした。買い物リストに今度は「愛」「友情」とありました。さて、お値段は？

それから夏の楽しみ、プールです。しかし水泳が苦手な子が多いのが、ゆうこうの家の特徴でもあります。学校の水泳の授業のためにも、先生たちの指導のもと、頑張りました。

プールまでは地下鉄。親から離れて乗るのは初めてという子もいましたが、先生たちや上級生たちに付き添われて、無事クリアできました。

お昼はお楽しみのファストフードでしたが、地下鉄のトラブルのため、コンビニ弁当となりました。夜はカレー。段々慣れてきた子供たちは、この夜も全部手作りです。もちろん完食。

その後は近所に住む家族も集まって、お待



ちかねの花火大会と、スイカ割りです。



最初は怖がっていても、すぐにこんな感じに



副院長先生からからはおいしいスイカが

お泊り会第3日目

最終日3日目。最後の食事はサンドウィッチです。なんでもはさんで食べました。

そしてお昼前には解散式を迎えました。

小さい子の多くは「楽しかった!」「またやりたい!」と興奮収まらない様子でした。親から離れ、自分と似たような子たち、扱いはなれている先生たちに囲まれた少人数のお泊り会は、学校の合宿とはちょっと違った印象を持てたのではないのでしょうか。

ところが最年長班長さんたちの中には「疲

れた」「もうやりたくない」と不満を漏らす子もいたりして。こちらは年上としての義務と我慢を覚えなくてはならないようです。

子供たちはお迎えに来てくれたお母さんたちに引き取られてゆき、ようやく静かになったゆうこうの家。事故もなく無事終了を迎える事ができたのも、諸先生方、ボランティアの方たち、企画から場所を提供してくれた魚住先生のおかげです。本当にありがとうございました。そして、お疲れさまでした。

クリスマス会

クリスマス会をやりました!



2010年12月24日に、これも元喫茶店「木馬」でクリスマス会を開催しました。

クリスマス会と言っても、子供たちの好物「焼き肉」パーティーです。さすが育ちざかりの子供たち、焼き肉、焼きそば、おにぎり、スープ、食べる食べる。最後まで残って食べ続けていたのは、やはり最年長のお兄さんたちでした。

ゆうこうの家の代表者である表山クリニックの副院長先生や院長先生も参加してくださいました(差し入れ付きv)。

華山先生の差し入れのケーキも平らげ、お開きになったのは日付が変わる直前、という



くらい楽しいパーティーでした。



子供が満腹になってから、大人の食事タイム



一方こちらでは子供たちがゲーム中

アンケートに おこたえします

前回のアンケートではたくさんのご意見や質問をいただき、感謝しております。

アンケートを集計し、編集したのは、中学生グループ活動教室に参加している最年長グループ（中1～中3）のお母さん達です。

一応、今のところ中学までは経験者の私たちでよろしければ答えられるものだけでもお答してみようと思います。

例えば……。

・進学（中学高校）就労、いろいろ選択はあるのですが、どこがどのようなレベルの受け入れなのか具体的なものがわからない。

これが一番多かったです。

発達障害の子は、何かに突出しているものを持っています。もしそれが勉学ならいいのですが、そうでない

場合は、同じような子が集まる学校をお勧めします。

例えば中学は私立を推薦で入った子もいます。一般入試より、推薦の方が入りやすいからです。もちろんレベルの低い中学です。学校見学をすればわかりますが、そういうところは発達障害の子が少なくありません。ということは、学校も先生方も扱いに慣れているのです。親より指導方法を熟知している熱情的な先生がいらっしゃったりします。

もちろん入学しても摩擦はありますが、利点は多いように思われます。また、高校大学に付属しているところならば、成績が悪くても付属の高校大学に進学はできます。

もちろん親身になってくれる先生がおられる公立の中学もあります。これは口コミで情報を集めるしかないかも知れません。

高校は普通公立高校への進学が難しく、低レベルの私立は不良たちが怖い、授業についていけない、というならば、通信制が基本の専修学校などがありますので、ご参考にしてください。とにかく学校見学をとことんしまくってその生徒や学風を实际見てみることをお勧めします。

就職は今の時代、特に頭の痛い問題です。ゆうこうの家も私たち親も、就職情報をごちゃごちゃに入手するようしています。もし手帳があれば、障害者枠で企業に入れる可能性が





ありますが、そうでない場合は、高校または
中学卒業後に専修学校へ入り、資格を取ると
いう手段もあります。

中学生の子を持つ私たち編集親組も就職、
自立には大変な不安を抱えています。

今から子供の「出来ること」「できないこ
と」「辛くても諦めない、飽きないくらい好
きなこと」を見つけ、それが役立つ仕事を模
索しています。

どの方法にしても、公立学校から自力で就
職できる子よりはるかにお金と親の労力が必
要になることを、覚悟しておいた方がいいで
しょう。

・他の親御さんと情報交換の機会がほしい。

先生に相談し、お会いしたい親御さんがゆ
うこうの家にはいらっしやる日時にお伺いす
るのはどうでしょう。

また、春頃にはゆうこうの家全体の保護者
会を予定していますので、お楽しみに！

・支援級か普通級か迷っています。

このことについては、去年（2010年）の7
月頃に華山先生が講座を開いてくださって
いました。

まずは学校の下見、見学に行くこと。教師
にがんがん質問しまくりましょう。それでそ
の学校の体質が大体掴めるはずです。

代表者挨拶

正会員、利用者会員、そして多くのサポ
ーターの皆様のおかげで、ゆうこうの家通
信Vol.02を発行することが出来ました。今回
も中学生グループの保護者の皆様に編集し
ていただき、ありがとうございました。細
くとも長く、継続は力なりを信じて続け
ていきたいと思えます。今後もどうかよろ
しくお願ひします。

代表でありながら、なかなか利用者さん
とお顔を合わせる機会がなく、残念に思っ
ていましたが、最近ではクリニックのほうに
来ていただいて、保護者の方ともお話が
出来ることを嬉しく思っています。

場見知りや、人見知りのある方、また、
待てない方の慣れの場になることを第一目
標に、聴診、触診、のどの診察を受ける訓
練、予防接種などの確認、パニックや多
動、衝動、不注意、不眠などに対して、医
療的な関わりができるかななどを目安に、診
察させていただいております。お気づきの
点などはどうかお伝え下さい。一人ひとり
がその子なりに育っていくように、NPOも
育てていきたいと思えます。

魚住君枝子

法人概要

名 称：発達・心理相談センター ゆうこうの家

認証年月日：H18.9.29

代表者名：魚住君枝子

所在地：名古屋市天白区表山1丁目1735番地の2

電話番号：（052）880-7704

定款に記載された目的：

この法人は、発達障害をはじめとする障害およびこころの問題をもつ人々に対し、
療育・カウンセリングを中心とした社会生活適応能力を向上するための支援事業を
行うことにより、障害をもつ人々のより健やかで豊かな成長と社会への適応に寄与
することを目的とする。